

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイリティ試聴会報告(2017.7.22)

エムプラスコンセプト主催のハーベス限定発売スピーカー「Super HL5PLUS-A」の試聴会に行ってきました。

日時：7月22(土) PM1:15~PM3:00

会場：3F ハイファイリティ試聴室

<使用機材>



ハーベス スピーカーシステム Super HL5PLUS-A ¥820,800 (ペア)



LUXMAN SACD プレーヤー D-08u ¥1,188,000



ラックスマン プリアンプ C-900u ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900u ¥1,188,000



当日のセッティング

#### <試聴の経過>

「Super HL5PLUS-A」は、以前に試聴会で聴いた「[SuperHL5 plus](#)」をベースにして特別仕様を施した限定モデルです。前回の駆動系はアキュフェーズでしたが、今回は上記のとおり Lux の製品が使用されていました。

最初に、かなり時間をかけて Harbeth の成り立ちや開発体制およびそのポリシーについて紹介があり、現行製品から 40 周年アニバーサリー限定モデルへの変更点の説明もありました。

まず、かけられたのはクラシックではなく、クロスオーバー系の音楽でしたが、切味がよく、クリアーな音がよく出ていました。

続いて、クラシック系に移り、ソプラノの日本歌曲、グレングールドのゴールドベルク、ドビッシューのフルート曲、バイオリンとギターデュオと順次聴いていきました。どれをとっても、声や楽器の質感が自然であること、空間の響きが良いこと、またグレングールドの唸り声までリアルに聴き取れます。また、スピーカーのサイズの割には左右を離して設置し、その間には何も置かない状態でしたが、スピーカーの間に音が展開して空間表現がしっかり出ていました。

次に男声のジャズボーカルがかかりましたが、声のニュアンスやベースの弾み具合も良くでていました。再びクラシックに戻って、ハイドンの弦楽カルテットとバッハの無伴奏チェロ組曲がかかりましたが、弦の滑らかさと弦の震えが見えるような音でした。

女声ボーカルを挟んで、最後はドボルザークの新世界がかかりましたが、スケール感と各パートの分離と協和がしっかりでていました。

まとめとしては、バランスがよく、質感表現や空間表現も申し分なく、確かに現行モデルからの改善が功を奏しているようでした。

以上